

マレーシア・ジョホール州イスカンダル開発地域を視察

シンガポール事務所

はじめに

2011 年 10 月 25 日、マレーシア・ジョホール州にあるイスカンダル開発地域を見学した。本視察は JETRO シンガポールの主催によるもので、当事務所のほか、在シンガポール日本国大使館、シンガポール日本商工会議所の職員が参加した。

開発地域の概要

イスカンダルは 2,217 平方キロメートルからなる広大な開発地域で、2007 年に国と州政府による共同開発が開始され、2025 年頃に完成する見込みである。Johor Bahru City Centre、Nusajaya、Western Gate Development、Eastern Gate Development、Kulaijaya の 5 つの地区に分かれている。治安維持対策や交渉による法人税率の優遇など、政府が関



Nusajaya 地区の解説

わる開発地域ならではのインセンティブがあり、税率優遇については海外企業も対象となる。東南アジアのハブであるシンガポールに隣接し、シンガポール・チャンギ国際空港まで国境を挟んで 1 時間ほどの上、Tanjung Langsat、Pasir Gudang、Tanjung Pelepas などの港も近い。高速道路も整備され、同国の首都・クアラルンプールへのアクセスも向上している。そういったインフラ整備により、ロケーションの良さが効果的に発揮できるようになった。また、これだけのロケーションにあるにも関わらず、シンガポールやクアラルンプールと比べて、人件費、地価などコストは安い。さらに、たとえば、現在海外進出先として人気のあるインドでは、当局によって更地が用意され、進出する日本の企業などが自分たちで工業施設や住宅、商業施設を整備するケースがスタンダードだが、イスカンダルでは、「住める」「必要機材を持ち込めば工場稼働ができる」状態までの開発を一手に請け負うシステムが整えられており、あらかじめ用意された施設や住宅を購入したり、借り上げたりすることができる。このため、自分たちですべてを整えることができない中小企業も進出可能で、イスカンダル側でも中小企業を受け入れる用意があるという。

賑わいを見せ始める開発地域

イスカンダルでは「Strong Sustainable Metropolis of International Standing」の 2025 年の完成に向けフェーズ 2 の段階にあり、現在高級住宅、集合住宅、都市リゾート施設、ゴルフ場などの整備が進められている。周辺にはジャスコや TESCO、Giant など

の大規模ショッピングモールやファクトリーアウトレットが次々とオープンし、賑わいを見せ始めている。

これにあわせ、2012 年中にオープン予定のレゴランドをはじめとする大小のテーマパーク、アメニティ施設はもとより、ニューカッスル大学医学部やオランダ海運技術研究所、シンガポール経営開発大学などの誘致に成功した研究学術拠点「Educity」の建設も進行中である。

シンガポールとの政府間協力開発も協議されており、シンガポールからの地下鉄乗り入れ計画や自動入国管理システムの導入も検討されている。近年比較的良好となった両国関係も手伝い、成長を続ける都市国家シンガポールの後背地というメリットを最大限生かし、すでに 700 億リングの投資を誘致し、インフラの整備も進むこの地域は、将来的にはさらなる飛躍が期待されることから、今後も同地域の新たな情報や、開発状況を注視したい。

(視察参加時における聞き取り等)

(伊藤所長補佐 浜松市派遣)

